

製品名: Sec16A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17689**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	SEC16A
別名	SEC16A; KIAA0310; SEC16; SEC16L; Protein transport protein Sec16A; SEC16 homolog A
遺伝子 ID	9919.0
SwissProt ID	O15027
免疫原	抗血清はヒト SEC16A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1013-1062

背景

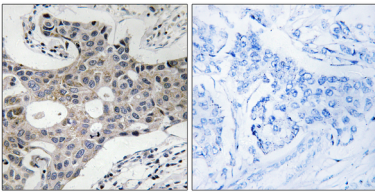
この遺伝子は、Sec16 複合体の一部を形成するタンパク質をコードします。このタンパク質は、小胞体（ER）からゴルジ体へのタンパク質輸送に関与し、移行 ER における COPII 小胞の形成を媒介します。選択的スプライシングにより、異なるタンパク質アイソ

フォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013 年 2 月]、機能: 小胞体出口部位 (ERES) を定義し、小胞体からゴルジ体への分泌貨物輸送に必須です。SEC16A は SAR1A-GTP 依存性に ER 膜上で組み立てられ、ERES を定義する組織化された足場を形成します。正常な移行性小胞体 (tER) の組織化に必要である。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性: SEC16 ファミリーに属する。細胞内局在: SAR1A 活性は、SEC16A の解離を防ぐことで、ER 膜上の特定の位置に SEC16A を局在させるために必要であると考えられる。サブユニット: SEC16A と SEC16B はそれぞれヘテロ多量体複合体内に複数コピー存在する。SEC23A と相互作用する。組織特異性: 普遍的に存在する。膵臓で高レベルで発現する。

研究分野

小胞輸送、制御、シグナル伝達、タンパク質輸送、ゴルジ体タンパク質

画像データ



SEC16A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。